

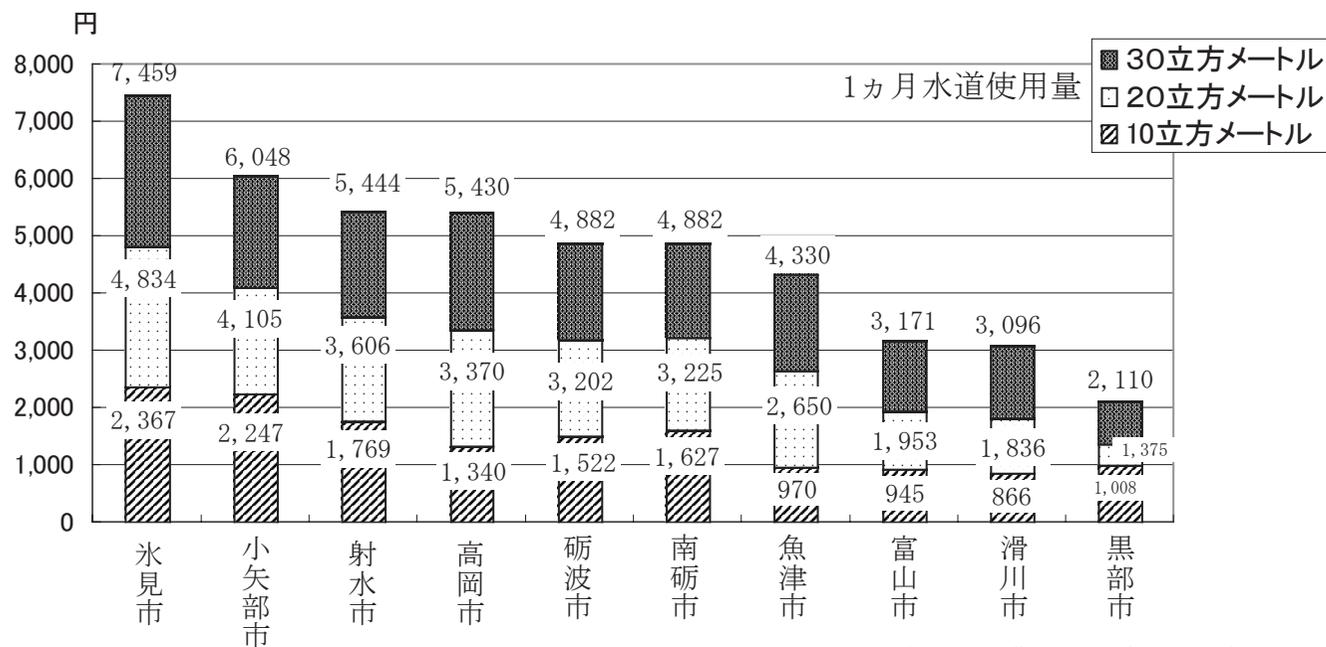
下がっても

高い水道料

さらなる

値下げ署名にご協力を

こんなに違う 県内の水道料



(2007年4月1日現在、口径20ミリメートル使用料、消費税含む。高岡市水道局調べ)

今年は今県企業局との受水協定見直しの年

県西部の水道料が県東部に比べて高いのは、県企業局から子撫川ダムの水を必要以上に購入しているからです。いま県営子撫川ダムから水道用水を購入している小矢部市、高岡市、氷見市などと県企業局との間でこの受水協定を見直す交渉が始まっています。

私たちの要望（県知事宛）

- ① 県企業局が販売している水道水の単価と協定水量を引き下げること。
- ② 県下東西の水道料金格差を解消するために、県独自の財政支援を行うこと。

昨年の成果

みなさんの署名がついに水道料金下げた

小矢部市では03年3月市議会で砂田市議が県水の引き下げを提起しました。犬島県議(当時)が県議会で水道料金の東西格差是正の必要性を訴え、中沖知事(当時)も研究したいと答えました。

これをきっかけにわたしたち市民グループは学習会を開き、値下げのために署名運動を進めてきました。金沢市では4.5%の値下げができたこともわかりました。

この運動がひろがるなかから富山新聞などマスコミも『水道料金の東西格差4倍』と報道し、地域に問題点を広くアピールできました。

05年12月の県企業局と市民グループとの交渉では、『県水単価の値下げは水道料金値下げを期待したものだ』との回答を引き出し、小矢部市ではついに昨年8月請求分より1立方メートル当たり10円下げ、一般家庭で5.23%の値下げとなりました。

さらなる値下げへ、市議会も一丸となって要求

今年9月市議会では、保守系の政友会も代表質問で「水道料金の値下げ」を要求。産業建設常任委員会は本会議への報告で値下げを要望しました。市当局も高岡市、氷見市などと協力して県水の単価、水量の引き下げを強力に交渉しています。

格差是正は

政治の重要な仕事

同じ県民なのに、小矢部市民は、黒部など県東部の水道料の3倍前後も高い水を飲んでいきます。

水は命の源です。この格差是正は政治の重要な仕事です。

水道法は、その目的に「清浄にして豊富、低廉な水道水の供給」(第1条)と明記。自然や歴史の違いなどで割高な水道料を税金で安くする高料金対策が、国の制度としてあります。ただ、近年、国は「行革」の名の下に、高料金対策を適用する基準を大幅に引き上げてきました。これを救済するのが政治の役割ではないでしょうか。

県企業局は子撫川ダムをつくらせたときの借金を返し終わりました。最近では黒字続きです。供給単価、協定水量の引き下げは可能です。



水道料の値下げを 求める会

事務局 八尾三紀夫

(小矢部市野端250-16 電話67-3702)